

マイケルJローズ ニュースレター 2015年 秋号



愛と光の皆様へ

マイケルの週末セミナーとインテンシブが終わりました。

とても素晴らしいセミナーとインテンシブでした。

参加して下さった皆さま、サポートして下さった皆さまに感謝します。

セミナーに参加された方たちの感想がHPにつぎつぎと掲載されていますのでぜひ、読んでください
いね。

参加された皆さんが、それぞれに、愛の選択を意識するために、

ピンクの癒しのエクササイズや

無条件の愛と信頼をベースに、もう一つの焦点を選んで、一日の方向を定める。

タイマーを利用して30分ごとに、この瞬間を意識する、愛を感じる・・・

それぞれに実践されている様子が伝わってきて、とてもうれしく思います。

そして、愛の選択を意識して、実践しようとしているたくさんの人たちがいます。

実践のエネルギーがつながりのある人たちだけでなく、もっと多くの人たちの後押しをしているよ
うに感じています。勿論、ラブバグ・・・愛のエネルギーで☆

Choose Love で素晴らしい毎日を♪

愛をこめて 大亀安美

ご挨拶

by キャロリン



私たちのニュースレターは、20年前にアメリカで私が初めて発行して以来、たくさんの変化を経験してきました。第1号は、一面刷りの2ページのものでした。それ以降、変化し続けてきました。次号となる2016年3月号は、また、新しいプログラムにより、まったくこれまでと違うものになるでしょう。

私たち同様に、ニュースレターも進化し続けています。私たちも、内なる古いプログラムをただ変えるのではなく、手放せませうように！

親しい友人が、今、家族のことで、厳しい状況にあります。彼女の感情的な安定性、受容性、そして、信頼が、姉妹にとっては、無関心、思いやりのなさに見えているのです。

例えていうと、典型的な鶏と鷺です。狭い囲いの中で人生を終えるのか、もっと広大な現実から人生を生きるのか、勿論、どちらも、同様に神聖ですが、鷺の見方は、現実をより広い視点から見ます。「鶏と鷺がともに、大空を飛ぶことはできない」とマイケルは話します。

私たちがスピリチュアルに成長するにつれ、人生への見方も成長します。それは、よく周りの人々を落胆させることとなります。彼らと同じように考え同じように振舞ってほしいからです。

「あなたは本当にうまく向き合っている・・・どうしてそのようにできるの、教えてくれる？」という代わりに、彼らは、自分達の集会的なドラマにあなたを引き込みたいと思います。でも、感情的になって動揺することが、問題解決になるのでしょうか？

困難な事態に、応答する人たちもいれば、ネガティブに反応する人たちもいます。それぞれに最善を尽くしていますが、意識のレベルによって違ってきます。

感情的に苦しんでいる人がいるとき、人生の嵐にも耐えうる丈夫な木に成長するまで、忍耐強く育てられる必要のある小さな苗木のように対しましょう。

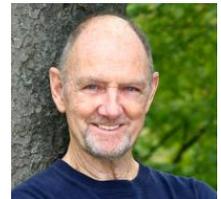
私たち誰もが、ネガティブに反応するときもあれば、愛から応える、瞬間から応えるときもあります。人生は、私たちが、愛を与え受け取る能力を成長させるため、他人への、信念への、プログラムへの執着を引き剥がすような状況を差し出してくれます。それは、すべて素晴らしい人類の経験の一部です。

終わりに、マイケルと私は、セミナーの主催者に、通訳に、参加者に、心からの感謝をおくりします。2015年の旅は、最高のものとなりました。愛を人々のハートにもたらそうとするあなたたちの努力は、何倍、何十倍にもなって、あなたたちに返ってくるでしょう。それは、誰もが勝利するものです！

愛をこめて キャロリン

質問と洞察

by マイケル



質問とは、自分の外に答えを求めていることを意味します。覚えておいてください。質問があるときは、あなた自身のより深いところにすでにその洞察があります。それが一体性というものです。このコラムはあなた自身の内なる洞察や知恵への飛び込み台となるものです。

質問:自分が、この瞬間、スピリチュアルに、感情的に、どれほど進化したか、成長したかをどうすればわかるのでしょうか？

洞察: 今、どのくらい心配がありますか？ ストレスがどれほどありますか？ 望むことを、どれほど頻繁に考えますか？ どれほど頻繁に他の人を批判したり、裁いたりしますか？

よく腹が立ちますか？ 交通渋滞があると、すぐにイライラしますか？ すぐに他人や自分を批判してしまいませんか？ すぐに疲れますか？ 短気ですか？

これらのどれかが当てはまるなら、やがてあなたが自分の真理を生きるようになるときほど、スピリチュアルには成長しているとは言えません。まだ、ずっと先があります・・・でも、まったく問題ありません。

この小さな質問は、この瞬間の、あなたの内なる成長を示しています。自分自身に、気長になりましょう。あなたは、あなたのあるがままです。まず、何よりも、あなたの人生から批判を取り除くのです。

批判は、必要ありません。いつも批判する人たちと交わらないことです。批判するのではなく、自分自身への、人々への、賞賛を学びましょう。あなたにあるベストに目を向けるのです。確かに、たくさんあります。その一つ、一つを、賞賛しましょう。

そして、人々にあるベストに目を向けるのです。あなたは、見つけられます。あなたが焦点をあてるところへ、エネルギーは流れます。ただ、この焦点を変えるだけで、あなたの人生は、よりなめらかになるでしょう。批判されたら、その人に微笑みかけ、私は自分のことが好きだと伝えてみては…。あなたの気持ちがダウンするのではなく、高まることをあなた自身に話しかけるのです。

批判する人は、自分に対して批判的であり、それが、他人に対しても向けられているだけなのです。これが、多くの人のしていることです。彼らが、彼らの否定的なことを人々とシェアするように、あなたは、あなたの肯定的なことを人々とシェアできます。

あなたがあなた自身と深い愛ある関係にあるとき、あなたは内なる成長を続けることになります。素晴らしく、です。これは確かなことです。

真のスピリチュアルな成長のすべては、無条件の愛から生まれます。

質問:私は、個人医を開業したいし、また、新しいアパートも見つけなければなりません。「ほしい」、「必要だ」といった気持ちをもたないで、こういったものをどうやって作り出せばいいのでしょうか？

洞察:この質問は、私が、「欲望」は、貧困の言葉であると、インテンシブで教えているからだと思います。

すべての生命・人生は、この瞬間にあります。私たちは、直線の時間の枠内で、考え、読み、話しますが、これが、生命・人生が実際に展開する方法ではありません。人生は、瞬間、瞬間過ぎていくものと思ひ、これが、瞬間にあることだと考えるのは簡単です。しかし、より広大な現実において…ここが肝心です…瞬間、瞬間は、ありません。「ずっと瞬間にある」だけです。あるいは、瞬間にいないかのどちらかです。

これは、とてもシンプルで、基本的なことです。

「あなたの人生のあらゆる瞬間に、あなたは、あなたの人生のあらゆる瞬間の中味と方向を作り出しています」

ですから、あなたに欲しいという思考と感情があるなら、それが、瞬間の焦点になるわけです。あなたの思考と感情が欲しいにあるなら、欲しいがあなたの人生の中心になります。毎日、あなたの人生の方向と中味は、欲しいというエネルギーを含んでいます…貧困への高速道路のようなものです。

あなたの質問は、欲しいと思うことなく、どうやって何かを作り出すか、です。

必要という言葉があります。私は、必要と欲望を同じグループとは思っていません。必要と欲望は、異なります。あなたには、必要なもの、必要なことが、あります。それは、明らかです。では、私のおすすめする方法です。あなたの必要性が満たされることに焦点をあて、信頼する、です！信頼についての詳細は何度も話していますよね。結果に囚われないことです。ただ信頼する、です。

必要性を満たす旧いやり方があります。その方法は、必要と、欲望が混在したものです。お金を稼いで、あなたが欲しいもの、必要なものを買うことです。

旧い方法とは、必要性を満たす別の方法を知らない、固定された意識の表現といえます。クレジットカードで支払う意識と同じです。お金を払うことなく、何かを買うのです。オーストラリアでは、クレジットカードによる負債が 510 億ドルなっています。ヨーロッパやアメリカで、その額はいくらになっていることでしょう。

私は、必要性を満たす新しい方法を述べました。あなたの必要に焦点をあて、必要が満たされるという気持ちを育むのです。必要が満たされる前に、満足で幸せな気持ちになるのです。

メタフィジカル(非物質)が、フィジカル(物質)に先行します。つまり、必要が満たされるまで待つのではなく、その前に深い感謝を感じる必要があります…長い間待つことになるかもしれません。

人々は大体においてこの反対をやりません。必要が満たされる前に、悩み、心配し、深いレベルの不安を作り出します・・・そして、待つ・・・待つ・・・願う。これではうまく行きません。

あなたの必要が満たされる前に、あなたの感謝が深くなれば深くなるほど、さらに早く、あなたの必要が、現実化するでしょう。

言いかえると、手に入るまで、その振りをする・・・そうすると、かなり早いうちに、それは振りではなく、あなたは、深い本物の感謝と賞賛のエネルギーを作り出したことがわかるでしょう。

意識は、あなたの焦点を知っているだけです。そして、あなたの焦点が向うところへと、エネルギーは流れます。あなたの焦点が、心配と、欲しいだけなら、それが、あなたの作り出すことです。

あなたの焦点が、必要が満たされることへの深い感謝であるなら、その焦点は、あなたの必要性を生み出すことになるのです。

忘れないでください。

「あなたの人生のあらゆる瞬間に、あなたは、あなたの人生のあらゆる瞬間の中味と方向を作り出しています」

マイケルに質問のある方は下記のアドレスにご連絡ください。

英語での質問はキャロリン宛: Carolyn@michaelroads.com

日本語は、こちらへ: info@michaelroadsjapan.com

アイラブユーの歌の素晴らしい魔法

フランスのキャロルより投稿

私自身の体験をシェアさせてください。

母は、長年、アルツハイマー病を患っています。母の介護を誰か他の人に手助けしてもらおうことが嫌だった父は、疲れきって、5年前に他界しました。それ以来、姉、兄、そして、私の3人で、できる限り母のサポートをしてきました。それぞれが、よかれと思う方法で、です。

私自身は、ここ数年、内なる変容が起き、薄皮を剥ぐように手放し、手放しで、オープンになり、バランスを求め、母と私の関係を受け入れ、進行するに連れて変わる母との関係を受け入れようとなりました。しかし、次第に、感情的な義務感にさいなまれるようになりました。

自分に必要なことをすることと、献身的な娘でいようとする気持ちの間で引き裂かれるように感じたのです。私は困惑し、私のプログラムに深く埋め込まれた罪悪感に火がつかしました。

そして、疲れてへとへとになりました。そうやって、はじめて、私自身に許可をだす強さを見出せたのです。

私は、母と一緒に過ごす、彼女のために週末を費やすことに喜びや楽しみがあるのかどうか、感じてみることに時間を取りました。無理をしない。そうすると、私の訪問は、これまで以上に、楽しく豊かで、創造的なものになりました。

しばらくの間、母がベッドにいるとき、私は、ナナとアンキの「アイラブユー」の歌を母に歌いかけました。彼女を和らげ、これまでよりもリラックスして眠りにつきました。

この前訪問した時は、彼女の誕生日でした。私は、「ハッピーバースディ」を何度か歌い続けましたが、しっくりせず、「アイラブユー」の歌に代えました。マイケルがするように、母の両手を持って、母の目を見つめながら。すると、素晴らしいことがおきました。

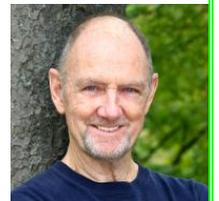
母は、いつも、腕を曲げて、両手を握っているのですが、3回ほど繰り返していると、腕が緩み始め、しばらくたつと、両手も緩み始めたのです。母は、わずかに両腕を揺らし始めました。口元は、まるで「アイラブユー」と歌っているようでした。目は、空を見るのではなく、私の目をじっと見つめていたのです。

ここ何ヶ月もの間で、一番、美しく、大切な時間でした。ええ、この何年もの間で、です。どこか、他のレベルで私たちは、一体になっていました。

その素晴らしい瞬間を思い出すと、私は喜びにあふれます。次回、彼女を訪問するときも、そうすることができますように。いつも、意識して、愛の選択をします・・・

キャロル

意識のコラム by マイケル



インテンシブの終わりに、「あなたにスピリチュアルな覚醒をもたらした要因は何ですか」と質問がありました。

本当に、一体何でしょう？物質的な出来事として直線の時間に起きたのは、1986年7月頃のことでした。しかし、覚醒は、物質的な出来事ではなく、直線の時間に含まれるものでもありません。もっと正確な表現をすると、覚醒は、瞬間の出来事であり、直線の時間とかかわりありません。

メタフィジカルな出来事を物質的な時間枠へ当てはめ、覚醒が、日々の現実とつながっているという信念をもちつづけることで、私たちは、脇道にそれてしまいます。真実、覚醒は、そうではありません・・・しかしながら、そうでもあります。

マインドは覚醒を目撃しますが、マインドは、その瞬間に関わりません。かかわりません。なぜなら覚醒とは、より広大なメタフィジカルな現実のものであり、人間のマインドが見える場で起きますが、それは真の経験ではありません。

知性も、その聖なる瞬間を経験することはできません。知性は、経験したかのように話すことは好きですが・・・覚醒の瞬間に、意識の叡智は、覚醒の一部であり、意識の叡智のなかに、その覚醒の全体を見ることができます。なぜなら、覚醒とは、意識の叡智と意識的に、十分につながるからだからです。

しかし、覚醒へと至る決め手となる要因は？

要因が一つだけとは思いません。これまでのたくさんの人生における試みと過ちが最高潮となった。あるいは、「手放しの概念を超える完全なる手放し」と「融合」の瞬間であり、分離の幻想が、私にとってとても苦痛となり、幻想から、より偉大な現実へと内なるところで倒れこんだ瞬間です。どちらも、本当です。

私の人生の道は、困難でした。私が、そうしました。自分が嫌いだったし、自分を十分とは思えなかった、賢くないと。馴染みある言葉でしょう？他の多くの人がそうであるように、私は、ひどくありませんが、家族が健全に機能しない家庭に育ちました。悪いとか、ひどいということでも、暴力的でもなく、ただ、感情的にうまく機能していませんでした。

14歳で私は、学校をやめました。そのことだけでも、私の家族は、私をどこか欠けているとみなしました。今、振り返ると、彼らが間違っているとわかりますが、ええ、あるがままです。私は、右脳が支配的な少年でしたが、学校は、正反対でした。すべて、左脳の知性についてでした。学校と私の間に共通の領域はほとんどありませんでした。そのため、私は自尊心に欠けたままでした。変わり者で環境にうまく順応できませんでした。

35才の頃、突然、「私は誰？」という問いを突きつけられました。その質問が、忽然と向ってきて、私の古い人生を引き裂きました。答えはわかりませんでしたが、答えを見つけるつもりでした…すぐにでも！しかし、15年かかりました。ただ、質問を突きつけられたその瞬間から、しっかりと向き合いました。ですから、もう一つの要因は…「献身」です。

私は、深く真剣に向き合いました。どんな環境になっても、です。たくさんの出来事がありました。私のスピリチュアルへの献身が、私の農民としての仕事をやめさせ、私にとって恐れが多い道へと出発させました。もう亡くなりましたが、同じ問いに向き合う妻と、4人の子どもとともに、私は、オーストラリア中への旅へと向かい、スピリチュアルな共同体の創設を目指しました。

その過程には、たくさんの意味深い学びがありましたが、すべて省略します。実際、共同体を作ることができました。そして、共同体での4年間の間に、もう一つの要因が明らかになりました…「私の恐れに直面すること」です。恐れは、本当のところ、牙のない虎と同じです…しかし、恐れは、長く、大きな声でうなります。

私はその4年間に多くの恐れに囚われましたが、直面しました。私が、バイオ農法のコンサルタントだった数年の間、私の暮らしは安泰でした。しかし、私の直感から、これは覚醒への道ではないとわかりました。だから、前へと進みました。自分の直感を信頼し、大いなる自然とのコミュニケーションを信頼する、ええ、もう一つの要因です…「信頼」です。

誰もが程度意識しているなら、自分の足りないところに気づくでしょう。そういった側面は、裁かれるべきではなく、ただ認識している、もし可能なら、向き合うのがよいでしょう。私は、自分を信頼していませんでした。私が現在教えている信頼への深遠な洞察を得るには、何年もかかりましたが、それは、もう一つのとても意味ある始まりとなりました。

ですから、私たちは、フィーリングと直感の道に従いながら歩きます。その道は、いつもハートとつながっています。知性・頭の道ではありません…そこにあるのは、混乱だけです。数年後、内なる崩壊、手放しの最終段階にいたとき、私が学んだすべて、スピリチュアリティについて知っていると思っていたすべて、私が読んだ本のすべては、無用で、ただ、言葉や概念に過ぎないという現実と直面しました。

私が真理を見出したのは、死の現実と直面し、死に委ねたときでした。私は、「手放しのプロセスにありました。「手放し」…最後の要因です。家族を手放し、覚醒したいという願いを手放し、神を手放し、最後は、私自身でした。できませんでした。どうやって、私を手放す？私は、私です！私を手放そうと苦しみました…諦め、受け入れました。失敗です。私は、手放すことを手放しました。

その瞬間に、驚くほどの明晰さで、「私」は、存在しないことがわかったのです。分離した私はありません。私とは、マインドが作り出したものです。あるすべては…ただ、あるです！その瞬間、すべてが変化しました。自分であると思っていたアイデンティティは、死にました。本当の私であるセルフが、現れました。覚醒です。

ですから、これらが、いくつかの要因です。勿論、他にもありますが、これで十分でしょう。私の道は、痛みと苦しみの道でした。現在、私は、素晴らしくうまく道を伝えています。いつも意識して愛を選択する道です。

マイケルローズ

波動の薬

この記事がアインシュタインのものであるかどうか、その信憑性は別にして、ここに書かれている内容は、真理を示しています。 マイケルローズ

1980年代後半、有名な天才の娘であるリーゼル・アインシュタインは、アインシュタインから送られて1400通の手紙を、彼の死後、20年は、その内容を公表しないという条件で、ヘブライ大学に寄贈しました。下記は、リーゼルに宛てた一通です。

私が相対性理論を公表した時、ほとんどの人が理解できなかった。だから、私が人類に伝えようとここに記していることは、誤解と偏見にさらされるだろう。だから、必要な限り、何年、何十年と、社会が、私の記していることを受け入れられるようになるまで、これを公表しないで守ってほしい。

科学が、まだ説明できない、とてもパワフルな力がある。それは、全てを含み、全てを統括するパワーであり、宇宙のどんな現象の背後にもあり、私たちにまだ明らかにされていないパワーだ。この普遍的なパワーは、愛だ。科学者が、宇宙の統一理論を求めたとき、彼らは、目に見えないもっともパワフルな力のことを見落とした。

愛は、光であり、愛を与え、受け取る人たちを、導く。愛は、引力である。なぜなら、愛は、人と人を引き寄せるものだから。愛はパワーである。なぜなら、愛は、私たちにある最善を増やし、盲目的な自分本位から、人類が減びることを認めないから。

私たちは、愛のために生きて、愛のために死ぬ。愛は神であり、神は愛なのだ。愛のパワーが、あらゆることを説明し、生命・人生に意味を与える。愛とは、私たちがあまりにも長い間、無視してきた変数、つまり、とらえどころのないものだ。無視してきた理由は、おそらく、人類が、自分の意思で御することを、まだ知らない唯一のエネルギーだから。

愛を分かりやすくするために、私のもっとも有名な式を使って、シンプルに置き換えてみた。 $E=mc^2$ のかわりに、世界を癒すエネルギーを光の2乗の速さで増える愛から得ることができると認めると、無尽蔵の愛こそ、もっともパワフルな力であるという結論に、私たちは達するのだ。

人類は、力の利用と制御に失敗し、地球に脅威をもたらしている。人類は、何か別のエネルギーを作り出すことが急務なのだ。人類を存続させたいなら、人生に意味を見出すつもりなら、世界を、そして、そこに暮らすすべての生命を救いたいなら、愛こそが、ただ一つの答えだ。

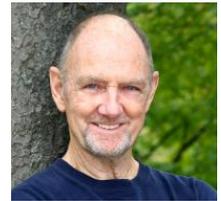
私たちには、地球を危険にさらす憎しみ、自分勝手、貪欲などを完璧に破壊する「愛の爆弾」を作る準備はできていないであろう。しかし、それぞれが、小さいけれども、解き放たれるのを待っている愛のエネルギーをもっているのだ。愛の発電機だ。

愛しいリーゼルよ、人類が、この普遍的なエネルギーを与え、また、受け取ることを学ぶとき、誰もが、愛がすべてを征服すると、愛は、全てを、どんなことも、変容できると確信するだろう。愛こそ、生命・人生の本質なのだ。

私は、おまえに愛を表現できなかったことを深く悔いている。そのことが、私を静かに打ちのめしてきた。謝るには、遅すぎると思うが、時間は相対的なものなので、リーゼル、おまえを愛していることを伝えたい。そして、おまえのおかげで究極の答えを得ることができた。深く感謝している。

おまえの父、アルバートアインシュタインより

2016年 インテンシブセミナーへのお誘い 「あなたの意識の進化・・・愛への回帰」



生命・人生の周波数がたえず高まりつづけています。
ですから、いまこそ、あなたの意識の進化にしっかり取り組みましょう。

私たちの惑星地球とつながり内なるバランスを学ぶことで、そして、大いなる自然とより深いつながりを作り出すことで、あなたのスピリチュアルな成長に欠かせない要素の二つをひとつにすることができます。つまり、意識のバランスと大いなる自然とのつながりを、です。

より広大な全体とのつながりとバランス・・・人類は、どちらにおいても健全に機能しているとはいえ、どちらも見失っています。大いなる自然を無条件の愛と感情の癒しという包括的なテーマに組み込むことで、私は、生命・人生の広大さを、あなたたちに示すことができます。

本当のあなたである、あなたの内なる「愛の存在」を見出しましょう。
人々や自分を批判するメンタルなおしゃべりを減らし、終わりにするにはどうすれば良いのか学びましょう。
いくつもの人生で、私たちは、人生の質をだいなしにする否定的な行為、批判、非難、怒り、反応をたくさんしてきました。もうたくさんでしょう。そうではなく、あなたのスピリチュアルな成長と、無条件の愛がもたらす可能性への認識・気づきにわくわくしましょう。

インテンシブでは、毎日、インナーエクササイズを午前と午後の2回します。私が話したことを経験するために、です。私が教えるすべては、あなたの日々の暮らしで、実践することができます。魂を満たし、人生を変える生き方を学びましょう。その素晴らしい結果を、あなた自らが証明してください。

愛と光の中で マイケル

2016年の日本でのセミナーの日程が決まりました！

2016年11月3日（木祝）～7日（月）
場所は、昨年同様、コープイン京都（京都市）です。

外国人観光客の増加のため、ホテルが取りにくくなっています。そのため、今回は受付を早め、2016年2月からの申し込み受付とさせていただきます。

詳しくは、2月にホームページにて！

発行:マイケルローズジャパン 事務局 大亀安美／中村舞

TEL /FAX 0897-34-8914

URL: <http://www.michaelroadsjapan.com> e-mail: info@michaelroadsjapan.com